

まち並みウォッチング

(1) みんなの好きなまち並み探し

(1) - 1 みんなの好きなまち並み探し (アンケート調査とスケッチ・考察)

(2) 目を閉じてまちの音を聞いてみよう

(2) - 1 目を閉じてまちの音を聞いてみよう (観察・調査と考察)

<参考資料> 風景の作法

(3) 緑のあるまち並み

(3) - 1 緑のあるまち並みと緑のないまち並みを比べてみよう
(観察とスケッチ・考察)

(3) - 2 緑豊かなまち並みをつくってみよう (観察とスケッチ・考察)

(3) - 3 自由研究・まちの中の緑化や自然を守る活動を調べてみよう
(調査と考察)

(3) - 4 自由研究・学校や公共施設の緑化を提案し、実践してみよう
(考察と提案・実践)

<資料編> まちの中の自然を守る取り組み

(4) まちの歴史探検

(4) - 1 昔のまち並みと今のまち並みを比べてみよう (観察・調査と考察)

(4) - 2 まちの歴史と文化財を守る取り組みについて調べてみよう
(観察・調査と考察)

<資料編> 歴史的まち並み保存の実例
まち並みづくり

<参考資料> インタビューの基本

(5) 未来のまち並み環境マップを作ってみよう

(5) - 1 未来のまち並み環境マップを作ってみよう (学習の総まとめ)
～こんなまちに住んでみたい～

<参考資料> 簡単なまち並みのスケッチの方法

まえがき

私たちの暮らしの身近な環境の一つに「まち並み」があります。では、まち並みは、私たちとどのような関わりがあるのでしょうか。また、まちに暮らす様々な人々は、どんなまち並みを望んでいるのでしょうか。

まちには
いろいろな人が
すんでいる

まちには、赤ちゃんからお年寄りまでいろいろな人が暮らしています。人々は、どんなまち並みを好ましいと思い、また、どのようなまち並みになってほしいと望んでいるのでしょうか。いろいろな人から意見を聞いてみましょう。

まち並みの中の緑

まちを通る道路に並木や花壇が造られるのはなぜでしょうか。まち並みの中に木々や草花などの緑がある様子と、それらが全くない様子とを比べて考えてみましょう。また、まち並みの中の緑は、どのような役割を果たしているのでしょうか。

まち並みの変化と
まちの環境の変化

暮らしを便利にするために新しい道路やショッピングセンターが建設されたり、安心して暮らせるように街灯や地下道が建設されたり、多くの人働くための会社や工場が建設されたりと、どんどん変っていくまち並みがあります。一方で、古い家屋や道路をそのまま保存したり、自然環境を保全したり、回復したりする取り組みがあります。私たちの暮らしとまち並みの変化、まちの環境の変化との間には、どのような関係があるのでしょうか。調べてみましょう。

プログラムのねらい

望ましいまち並みの環境とは、どのようなものなのでしょうか。身近なまち並みを、アンケート調査やスケッチなどを使ったアクティビティを通して、環境という視点からあらためて観察します。それを通して暮らしやすさ、うるおいや安らぎ、まちの中にある自然、古いまち並みや文化財の保存など、望ましいまち並みの環境について考えます。また、観察したことをもとに、望ましいまち並みの環境や、まち中の自然環境、文化財の保存などについても考え、自らが提案し、実践していく力を育てます。

学習の展開

1. 遊びながら観察して学ぶ

プログラムへの導入部として、自分たちのまちで暮らしたり、働いたりしている様々な世代の人たちが、どのようなまち並み環境を好んだり、望んだりしているのかアンケート調査を行って、望ましいまち並みやまち並みの環境について探ります。

次に、まち並みの中に見える緑のスケッチや写真撮影を通して、緑がそこに暮らす人にどのように関わっているかを考えます。

また、目を閉じて耳をすまし、聞こえてくるまちの音からも、まちの環境について考えてみます。



2. 観察・調査・考察

まち並みの様子やまちの環境が、今と昔とではどのように変わったのか、時間経過の中での変化を、インタビューや資料調べを通して、観察・調査し、考察へと展開します。



3. 知識の整理と実践行動への動機づけ

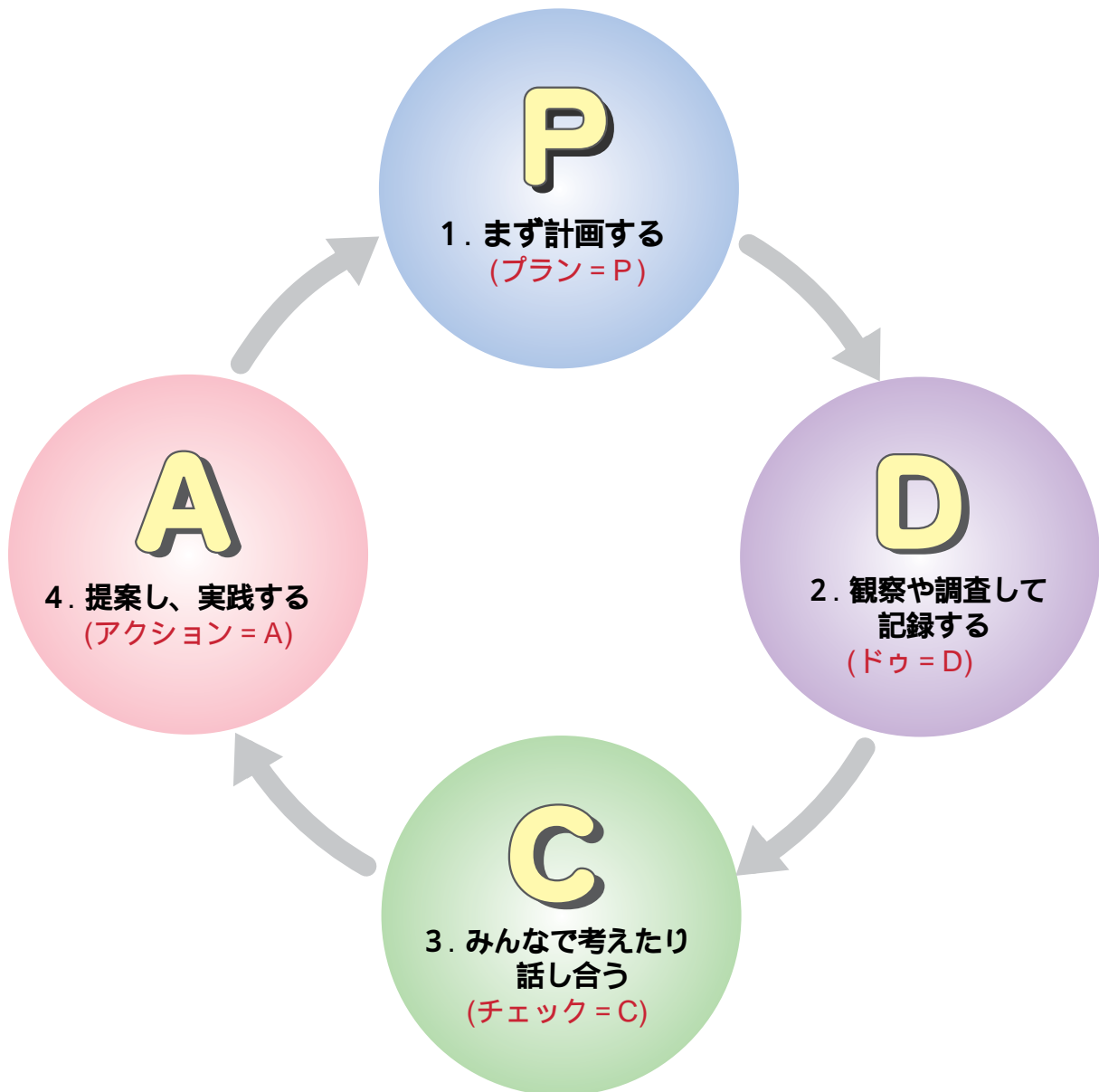
プログラムの導入部から、観察や調査によって得られた情報や知識を整理します。

また、整理した情報や知識をもとに、観察してきたまち並みについて環境の観点からの改善点を考え、未来のまち並み環境マップとして完成させ、提案を行うと共に、さらなる実践行動への動機づけへと発展させます。

アクティビティの展開

アクティビティの展開は、【計画・P=プラン】 【実行(観察・調査・記録)・D=ドゥ】
【話し合っ考える(考察)・C=チェック】 【提案し実践する(行動)・A=アクション】
という、四つの段階を経て展開します。

また、このP D C A をアクティビティのサイクルとして、1回目の結果を生かし
ながら別の観察エリアで同じアクティビティを展開することで、観察や研究に奥行きと深み
をもたせることをねらいとしています。



(1) みんなの好きなまち並み探し

アクティビティ ①

(1) - 1 みんなの好きなまち並み探し (アンケート調査とスケッチ・考察)

はじめに

私たちのまちで暮らしたり、働いたりしている人たちが好きなまち並みとは、どんなまち並みなのでしょう。まちに暮らし、働く人々100人にアンケートして、みんなの一番好きなまち並みを調査してみましょう。暮らしやすさやうるおい、安らぎ、楽しさ、元気など、年齢や性別によって人が好きなまち並みは様々です。

さらにアンケート調査で分かった、みんなが一番好きなまち並みを、スケッチしたり写真にとって観察し、みんなの好きなまち並み環境についてあらためて考えてみましょう。

ねらい

暮らしやすさ、うるおい、安らぎ、楽しさ、元気など、様々な視点から、まちで暮らす人々の一番好きなまち並みをアンケート調査で探ります。また、調査で分かった多くの人たちが好きなまち並みを、スケッチしたり写真に撮って観察し、記録します。

さらに、アンケート調査やスケッチなどによって気付いたことなど、みんなが好きだと考えるまち並みや、望ましいまち並みの環境について考えます。

準備するもの

アクティビティシート・筆記用具・まちの地図・色鉛筆または水彩絵の具・必要によりカメラなどの撮影機材

進め方

1. アンケート調査の内容や役割分担をみんなで話し合って決め、アンケート調査を行おう。
また、多くの人が好きだと答えたまち並みはスケッチしたり写真にとって観察し、その理由を考えよう。
2. 教室に帰ってアンケート調査の集計や、スケッチや写真などの観察記録を発表して、みんなの好きなまち並み環境について話し合い、望ましいまち並み環境について考えよう。

アクティビティの展開

1. 計画する (プラン=P)

「アンケート調査の進め方」をもとに、アンケート調査の内容や役割分担を決め、調査する場所や日時、記録の方法(スケッチ、写真)等を決めて、必要なものを準備しよう。

2. 調査して記録する (ドゥ=D)

アンケート調査を実施し、その結果を集計して、多くの人が好きだと考えるまち並み環境とはどのようなものかを探ろう。また、多くの人が好きだと回答したまち並みをスケッチや写真に撮って観察し【観察したことを記録する用紙(1)-1】に記録しよう。

3. みんなで考えたり話し合う (チェック=C)

アンケート調査の結果や観察記録(スケッチ、写真)を発表し、みんなで話し合って気付いたことや疑問に思うことを【考えたことをまとめる用紙(1)-1】に書き込もう。

4. 提案することを考える (アクション=A)

まちに暮らす人たちは、どのようなまち並みを望んでいるのか、また多くの人が望むまち並みにしていくためにはどのようなことが必要か、そのために自分たちには何ができるのかなど考え【提案することをまとめる用紙(1)-1】に書き込もう。

アンケート調査の進め方

調査の目的をはっきりさせよう

アンケート調査の目的をはっきりさせ、調査に関わるスタッフ全員の共通認識を図ろう。

調査項目を決めて、アンケート用紙を作ろう

アンケート調査の項目と質問内容を決めて、アンケートの見本を参考にしてアンケート用紙を作ろう。

調査結果の集計が簡単に行えるように、できるだけ番号または記号で回答できるようにしておこう。

質問内容は、できるだけ分かりやすい表現にしよう。



調査対象を決めよう

調査対象の条件をはっきりさせておこう。

(今回の調査では、まちに暮らしている人が、まちで働いている人が調査の対象になるよ)

調査の条件にあてはまる人たちの中から、年齢や性別がかたよらないように100人を選ぼう。



調査方法を決めよう

アンケート調査には、その場でアンケート用紙に解答してもらう「聞き取り調査」と、アンケート用紙を郵送して回答を記入した後に返送してもらう「郵送調査」があります。

今回はまち並みウォッチングを兼ねて、可能な限りその場で回答がもらえる「聞き取り調査」で行ってみよう。

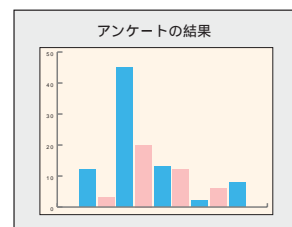


アンケート調査を実施しよう

「聞き取り調査」は、事前に「調査日時」「調査場所」「調査対象の数や比率」を決めておき、みんなで手分けして行おう。

調査の結果を集計しよう

アンケート調査の結果を集計して、グラフにして表現してみよう。



アンケート用紙の例

あなたの好きなまち並みに関するアンケート

調査の目的

このアンケートは、私たちのまちで暮らしたり働いたりしている人たちが、どのようなまち並みを好きだと感じているのかを調べ、多くの人が好ましいと考えるまち並みの環境を調査するためのものです。

お名前

年齢

性別 男・女 (で囲んで下さい)

ご住所

質問1 あなたが好きだと感じるまち並みのイメージとして思い浮かぶものを、次の中から選んで下さい。(2つまで)

1. 静かで心が安らく 2. 公園や自然が多くうるおいを感じる 3. 田や畑が多くのかである
4. お店が多くて便利である 5. 会社や工場があって活気を感じる
6. 人通りが多くにぎわいがある 7. その他 ()

質問2 あなたはどんなまち並みが好きですか。次の中から選んで下さい。(3つまで)

1. 古い建物が多いまち並み 2. 公園や緑が多いまち並み 3. 並木や花壇の多いまち並み
4. 住宅地のまち並み 5. ビルが建ち並んでいるまち並み 6. 商店街のまち並み
7. 新しい建物が多いまち並み 8. デパートやショッピングパークがあるまち並み
9. 工場が見えるまち並み 10. その他 ()

質問3 まちの中に増えたらよいなと思うものは、何ですか。(3つまで)

1. まち並みの中の緑 2. 自然公園 3. スポーツ公園 4. 病院や福祉施設
5. 工場や会社 6. デパートやゲームセンター 7. 音楽ホールや映画館・劇場
8. 商店や市場 9. その他 ()

質問4 このまちの中で一番好きなまち並みの場所と、できればそのまち並みを好きな理由を教えてください。

そのまち並みがある場所(所在地)

そのまち並みが好きな理由

みんなが好きなまち並みを調べよう

なまえ()

観察したことを記録する用紙(1) - 1

アンケート調査した場所

日 時 年 月 日 時 分

アンケートの集計とグラフ

質問 1

100人								
90人								
80人								
70人								
60人								
50人								
40人								
30人								
20人								
10人								
番号	1	2	3	4	5	6	7	8
回答数								

質問 2

100人								
90人								
80人								
70人								
60人								
50人								
40人								
30人								
20人								
10人								
番号	1	2	3	4	5	6	7	8
回答数								

質問 3

100人								
90人								
80人								
70人								
60人								
50人								
40人								
30人								
20人								
10人								
番号	1	2	3	4	5	6	7	8
回答数								

質問 4

多くの人が好きだと回答したまち並みの場所とその理由

1 位 _____

2 位 _____

3 位 _____

多くの人が好きだと回答したまち並みのスケッチまたは写真

1 位

2 位

3 位

考えたことをまとめる用紙(1)-1

アンケート調査の結果や観察記録を発表し、みんなで話し合っ
て気付いたことや疑問に思うことを書き込もう。

考える



- ・まちの人たちは、どのようなイメージのまち並みが好ましいと感じていたか。
- ・どのようなまち並みが、多くの人に好まれていたか。
- ・年齢や性別によって、好きなまち並みが異なっていたらどうか。
- ・まちの人たちの感じ方や意見と、自分の感じ方や意見に違いはあったらどうか。

提案することをまとめる用紙(1)-1

みんなで話し合っ
て気付いたことや疑問に思ったことをもとに、自分たちの暮らすまちのまち並みをもっとよ
くしていくためには、どんなことが必要か、またそのために自分たちには何ができるのかなどを考
えてみよう。

考える



- ・多くの人に好まれるまち並みには、どのような共通点があるだろうか。
- ・誰もが好きだと感じるまち並みを増やすためには、どうしたらよいのだろうか。
- ・より好ましいまちの環境にするために、自分たちには何ができると思うか。

(2) 目を閉じてまちの音を聞いてみよう

アクティビティ ①

(2) - 1 目を閉じてまちの音を聞いてみよう (観察・調査と考察)

はじめに

まちにはいろいろな音があります。このアクティビティでは、まちに出かけてまちの中で聞こえる様々な音～自動車の音、雑踏のざわめき、商店街から聞こえる音楽、電車の発車のベル音や踏切の警報音、緊急自動車のサイレン、川のせせらぎの音、鳥の声～など、まち中の様々な音を聞き、その音を記録してみます。

ねらい

まちの地図を持ってまちへ出かけ、交差点、商店街、公園、川など様々な場所で、目を閉じてまちの音に耳を傾け、聞こえた音を記録します。そして、「音」の記録から、まちの音環境について考えます。

準備するもの

アクティビティシート・筆記用具・まちの地図・色鉛筆

進め方

1. 観察マップをつくり、観察の日時や記録の方法等を決めて、必要なものを準備しよう。
2. 観察マップを持ってまちへ出かけ、目を閉じてまちの音を聞いてみよう。どこで、どんな音が、どのように聞こえたかを観察マップや記録用紙に書き込もう。
3. 教室に帰り、観察記録をもとにまちの中のどんな場所でどんな音が聞こえたのか発表しあって、快適な音、不快な音、不快だけど改善してはいけない音、不快だけど改善できる音など、まちの音環境について考え、話し合おう。

アクティビティの展開

1. まず計画する (プラン=P)

観察する場所と日時、記録の方法を決め、グループの仲間と話し合って、【観察の計画をまとめる用紙(2)-1】に書き込もう。

2. 観察や調査して記録する (ドウ=D)

【観察の計画をまとめる用紙(2)-1】をもとにまちの中の音を聞き、【観察したことを記録する用紙(2)-1】に聞こえた音を書き込もう。

3. みんなで考えたり話し合う (チェック=C)

観察記録をもとに、聞こえたまちの音を発表し、みんなで話し合って気付いたことや疑問に思うことを【考えたことをまとめる用紙(2)-1】に書き込もう。

4. 提案することを考える (アクション=A)

みんなで話し合って気付いたことや疑問に思うことをもとに、自分たちのまちのよりよい音環境のためにはどうしたらよいのかなどを考え【提案することをまとめる用紙(2)-1】に書き込もう。

アクティビティに入る前に、環境学習プログラム・5-6「快適な音環境を考える」の中にある(3)「騒音を考える」と(4)「暮らしの中の騒音を考える」を読んでおくとう参考になるよ。

観察マップの例

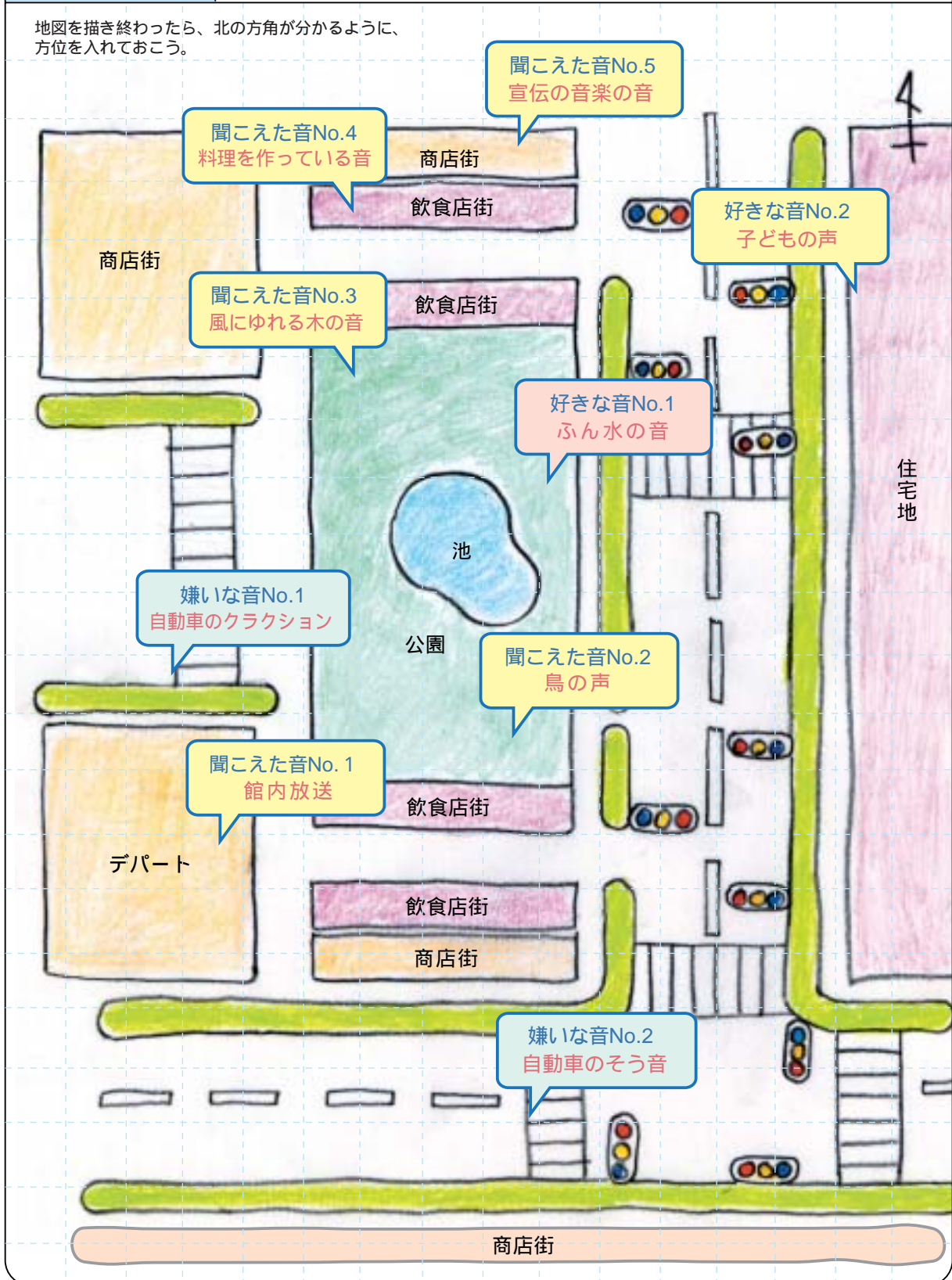
観察の計画をまとめる用紙(2)-1

まちの音
観察マップ

観察する場所

観察する日時 年 月 日 時 分 ~ 時 分

地図を描き終わったら、北の方角が分かるように、方位を入れておこう。



観察したことを記録する用紙(2)-1

聞こえた音 No. 1	場 所	何の音が	どのように聞こえたか	必要な音が、改善できる音が
聞こえた音 No. 2	場 所	何の音が	どのように聞こえたか	必要な音が、改善できる音が
聞こえた音 No. 3	場 所	何の音が	どのように聞こえたか	必要な音が、改善できる音が
聞こえた音 No. 4	場 所	何の音が	どのように聞こえたか	必要な音が、改善できる音が
聞こえた音 No. 5	場 所	何の音が	どのように聞こえたか	必要な音が、改善できる音が

観察の  ヒント

- ・必ず目を閉じて音を聞いてから周囲を観察しよう。
- ・ひとつの場所で何種類かの音を聞き分けよう。
- ・その音がどこから聞こえてくるのか、確かめよう。
- ・遠くから聞こえる音にも耳をすませてみよう。
- ・快適な音が不快な音が判断してみよう。
- ・音の大きさも大・中・小で記録してみよう。
- ・音の長さにも気をつけよう。
- ・消防車や救急車のサイレンのように大きくする必要のある音かどうかも考えてみよう。
- ・工事のように、限られた期間だけ聞こえる音かどうかも気をつけよう。
- ・音を防ぐ防音壁などの設備があるか、改善できる可能性があるかどうかとも考えよう。

考えたことをまとめる用紙(2)-1

観察マップや観察記録をもとに観察したことを発表し、みんなで話し合っ
て気付いたことや疑問に思うことを書き込もう。

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.

考える



- ・どんな種類の音が聞こえたか。
- ・その音をこちよいと感じている人はいたか。
- ・その音の大きさはどうだったか。
- ・その音をうるさく思っている人はいたか。
- ・快適な音と不快な音では、どちらの音の方が多かったか。
- ・近くに防音壁などはあったか。

提案することをまとめる用紙(2)-1

みんなで話し合っ
て気付いたことや疑問に思ったことをもとに、より暮らしやすいまちとす
るために、まちの音環境をこれからどうしていったらよいと思うのかな
どを書き込もう。

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.

考える



- ・その音を聞いている人は、どう感じているか。(改善が必要だと感じているか)
- ・心地よいと感じる音は、どんな種類の音だったか。
- ・まちの中で快適な音、また不快な音はどんな種類の音なのだろうか。
- ・不快に感じる音は、これからどうしていったらよいと思うか。
- ・まちの音環境について、より暮らしやすいまちにするためにはどうしたらよいと思うか。

長門市に住んでいた殿敷侃氏が提唱した『風景の作法』

美しいまち並みをはじめ、のどかな田園風景や自然豊かな景勝地、穏やかに凪いだ海を茜色に染める夕焼けの海岸など、私たちの周りには美しい風景がたくさんあります。

しかし、その一方で、私たちが便利に暮らすために必要な道路や橋、安全に過ごすために必要なガードレールなどは、美しい風景の中に作らなければならないこともあります。そんな時、どうすればよいのでしょうか。

1990年代のはじめ、長門市に住んでいた芸術家・殿敷侃（とのしき ただし）さんの呼び掛けで、「人が自然の風景や景観の中に入っていくとき、あるいはそこに何か人工的なものを加えたり、変えるようなことをする時には、それなりの作法があるのではないか。少なくとも、いろいろな角度から知恵を出し合い、しっかり話し合ってから行うべきではないか」という考え方で、『風景の作法』を考える活動が行われました。

グループのメンバーには、芸術家、医者、弁護士、博物館館長、大学教授、ジャーナリストなど、各界の有識者が幅広く集まり、各地の視察をもとに提言活動が行われました。

現在では様々な環境団体やNGO、ボランティアグループが活動していますが、環境を考える民間活動の先駆けともいえる活動でした。

殿敷 侃（とのしき ただし 1942～1992）略歴

当初は版画や絵画などを中心とした芸術活動を行っていたが、環境アーティスト、ヨーゼフ・ボイスとの出会いを機に、1980年代後半から環境をテーマにした芸術活動に取り組み、山口県長門市を拠点に世界に向けてメッセージを発進し続けた。

古タイヤなどの廃材や海岸に漂着したゴミなどを素材に製作したオブジェやインスタレーションなどの環境アートは、国内のみならず海外でも発表され、高い評価を得ている。

(3) 緑のあるまち並み

アクティビティ ①

(3) - 1 緑のあるまち並みと緑のないまち並みを比べてみよう

(観察とスケッチ・考察)

はじめに

自分達の暮らすまちの中にはどんな緑があるのでしょうか。公園はもとより、家の庭、街路樹、道路の花壇やグリーンベルトなどにはいろいろな樹木や草花が植えられています。それらまち並みの中にある緑は、私たちの暮らしにどのような役割を果たしているのでしょうか。

ねらい

草花や樹木などの緑のあるまち並みと緑のないまち並みをスケッチし比べ、まち並みの中にある緑の役割について考えます。

準備するもの

アクティビティシート・筆記用具・色鉛筆またはクレパス

進め方

1. 街路樹や花壇、玄関前に置かれているプランターなど、草花や樹木などの緑のあるまち並みと緑のないまち並みを探して、観察計画をたてよう。
2. スケッチブックと色鉛筆またはクレパスを持ってまちに出かけ、草花や樹木などの緑のあるまち並みと緑のないまち並みの二つをスケッチしよう。
3. 教室に帰って、草花や樹木といった緑のあるまち並みのスケッチと、緑のないまち並みのスケッチとを比較して、まち並みの中に緑があることで感じたことなどから、まち並みの中の緑の役割について考えよう。

アクティビティの展開

1. まず計画する (プラン=P)

スケッチする場所と日時などを決め【観察の計画をまとめる用紙(3) - 1】に書き込もう。また参考資料の【簡単なまち並みスケッチの方法】(13 - 62ページ)を参考にして、まち並みのスケッチの方法を予習しておこう。

2. スケッチする (ドゥ=D)

- (1) まちに出かけ、まず「緑のあまりないまち並み」をスケッチしよう。
- (2) 次に、草花や樹木などの緑がある「緑のあるまち並み」をスケッチしよう。

3. みんなで考えたり話し合う (チェック=C)

教室に帰って、草花や樹木などの緑のあるまち並みのスケッチと、緑のあまりないまち並みのスケッチを見比べて、感じたことをみんなで話し合っ、気付いたことや疑問に思うことを【考えたことをまとめる用紙(3) - 1】に書き込もう。

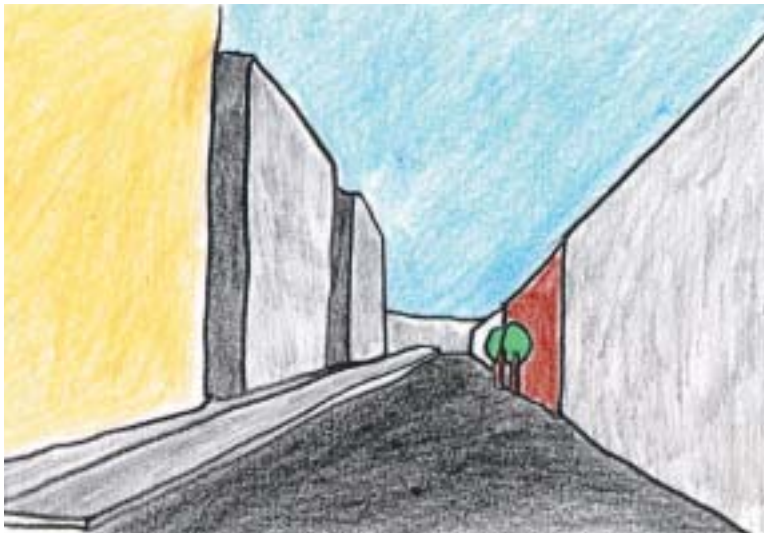

4. 提案することを考える (アクション=A)

まち並みの中に見える緑について気づいたことや疑問に思ったことをもとに、まち並みの緑についてどうしたらよいと思うかなどを【提案することをまとめる用紙(3) - 1】に書き込もう。

まち並みのスケッチの計画を立てよう

- (1) まち並みをスケッチする日時や場所を決めて【観察の計画をまとめる用紙(3) - 1】に書き込もう。
- (2) 参考資料【簡単なまち並みのスケッチの方法】(13 - 62ページ)を参考にして、スケッチの方法を予習しておこう。

まち並みのスケッチの例

観察の計画をまとめる用紙(3) - 1	
日 時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
場 所	
用意するもの	色鉛筆 ・ クレパス
緑のないまち並み	
	
緑のあるまち並み	
	

観察の計画をまとめる用紙(3) - 1

日 時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
場 所	
用意するもの	色鉛筆 ・ クレパス
<p>緑のないまち並み</p>	
<p>緑のあるまち並み</p>	

考えたことをまとめる用紙(3) - 1

草花や樹木などの緑のあるまち並みのスケッチと、緑のないまち並みのスケッチと見比べてどんなことを感じたのか、みんなで話し合っけて気付いたことや疑問に思うことを書き込もう。

考える



- ・まちの緑にはどんなものがあつたか。
- ・緑のないまち並みのスケッチを見て、どう感じたか。
- ・まち並みのどんなところに緑があつたか。
- ・緑のあるまち並みを見て、どう感じたか。
- ・まち並みのどんなところに緑が多くあり、どんなところに緑が少なかつたか。

提案することをまとめる用紙(3) - 1

緑のあるまち並みと緑のないまち並みのスケッチを比べて、感じたことや気付いたこと疑問に思つたことをもとに、緑の多いまち並みをつくつていくためにはどんなことをすればいいのか、提案することを書き込もう。

考える



- ・自分の家の近くのまち並みには、緑がたくさんあるか。
- ・緑のないまち並みを、これからどうしていったらよと思うか。
- ・緑のあるまち並みにするために、自分たちには何ができると思うか。
- ・まち並みの中の緑を守つたり増やしたりするために、その世話をしている人たちはいるのだろうか。

(3) 緑のあるまち並み

アクティビティ ②

(3) - 2 緑豊かなまち並みをつくってみよう (観察とスケッチ・考察)

はじめに

自分たちの暮らすまちの中にはどんな緑があるのでしょうか。公園はもとより、家の庭、街路樹、道路の花壇やグリーンベルトなどにはいろいろな樹木や草花が植えられています。それらまち並みの中にある緑は、私たちの暮らしにどのような役割を果たしているのでしょうか。

ねらい

緑が少ないまち並みを探してスケッチし、そのスケッチに自分で考えた花壇や街路樹を描き込むことを通して、まち並みの中の緑の大切さやまちの中に緑を増やす活動などについて考えます。

準備するもの

アクティビティシート・筆記用具・色鉛筆・クレパス

進め方

1. 街路樹や花壇などの緑が少ないまち並みを探して、観察計画をたてよう。
2. アクティビティシートと色鉛筆またはクレパスを持ってまちに出かけ、緑が少ないまち並みをスケッチしよう。
3. 教室に帰って、スケッチしてきたまち並みの中に、その場所にあったらよいと思う街路樹や花壇などの緑を考えて描き込もう。緑の無かったまち並みに緑が増えたことにより感じたことなどから、まち並みの中の緑の役割について考えよう。

アクティビティの展開

1. まず計画する (プラン=P)

スケッチする場所や日時などを決め、【観察の計画をまとめる用紙(3) - 2】に書き込もう。また、【簡単なまち並みスケッチの方法】(13 - 62ページ)を参考にして、まち並みのスケッチの方法を予習しておこう。

2. スケッチする (ドゥ=D)

- (1) まちに出かけ、街路樹や花壇などの緑の少ないまち並みをスケッチします。
- (2) 教室に帰って、スケッチしてきた緑の少ないまち並みの中に、その場所にあったらよいと思う街路樹や花壇といった緑を自分で考えて描き込みます。

3. みんなで考えたり話し合う (チェック=C)

緑が少ないまち並みのスケッチに、草花や樹木などの緑を描き込むことによるまち並みの変化やそのスケッチを見て感じたことをみんなで話し合い、気付いたことや疑問に思うことを【考えたことをまとめる用紙(3) - 2】に書き込もう。

4. 提案することを考える (アクション=A)

緑の少ないまち並みのスケッチを見て気づいたことや疑問に思ったこと、自分で考えた緑を描き込むことで感じたことなどをもとに、緑豊かなまち並みにしていくにはどうしたらよいのかなどを【提案することをまとめる用紙(3) - 2】に書き込もう。

緑のないまち並みに緑を描き込んでみよう

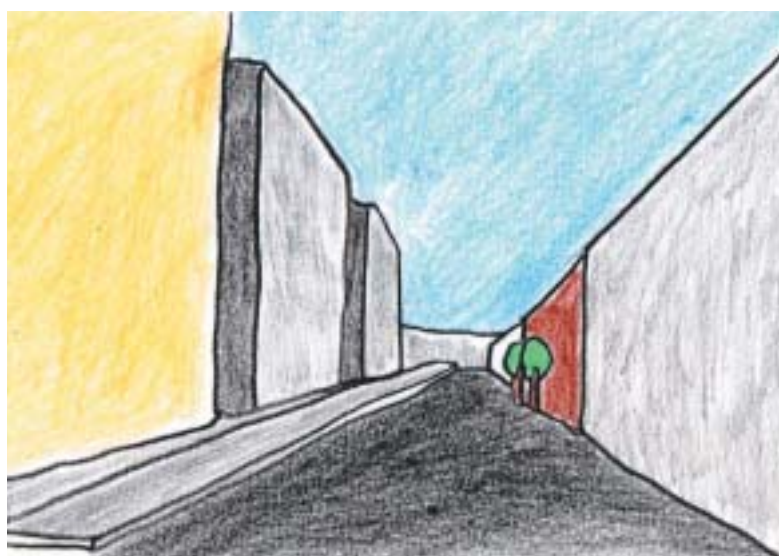
まち並みのスケッチの例

なまえ()

観察の計画をまとめる用紙(3) - 2

日 時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
場 所	
用意するもの	色鉛筆 ・ クレパス

緑のないまち並み



緑を描き加えると・・・



緑のないまち並みに緑を描き込んでみよう

なまえ()

観察の計画をまとめる用紙(3) - 2

日 時	年 月 日 時 分 ~ 時 分
場 所	
用意するもの	色鉛筆 ・ クレパス
緑のないまち並み	
緑を描き加えると・・・	

考えたことをまとめる用紙(3) - 2

草花や樹木など緑が少ないまち並みのスケッチに緑を描き込んで、どんなことを感じたか。みんなで話し合っ
て気付いたことや疑問に思うことを書き込もう。

考える



- ・緑の少ないまち並みの中に緑を増やしたことで、どんなことを感じたか。
- ・まち並みの中に緑を増やしたら、見た感じはどう変わったか。
- ・スケッチしたまち並みには、どうして緑が少なかったのだろうか。
- ・スケッチしたまち並みの緑は一年中少ないのだろうか。多い時もあるのだろうか。

提案することをまとめる用紙(3) - 2

まち並みの中に緑を描き込むことで感じたこと、みんなで話し合ったことなどをもとに、緑豊かなまち並み
にするにはどうしたらよいか、提案することを書き込もう。

考える



- ・まち並みの中に緑を増やすために、どんな活動が行われているのだろうか。
- ・新しくつくられた公共施設や道路などには、草花や樹木は植えられているか。
- ・学校の周りや自分の家の周りには、街路樹や花壇、プランターなどの緑はあるか。
- ・まち並みの中に緑を増やすために、自分たちには何ができると思うか。

(3) 緑のあるまち並み

アクティビティ ③

(3)-3 自由研究・まちの中の緑化や自然を守る活動を調べてみよう

(調査と考察)

はじめに

まち並みの中にある花壇や植え込み、街路樹などは誰が世話をしているのでしょうか。また、まちを流れる川の清掃、小魚やホタルの幼虫などの放流はどんな人たちがしているのでしょうか。まちの中の自然を守っている人たちの活動を調べてみましょう。

ねらい

まち並みの中にある花壇や街路樹などの世話や川の清掃、小魚やホタルの幼虫の放流など、まちの中で行われている自然を守ったり、自然を回復する取り組みや活動を探してみましょう。また市町村役場やNPO団体、ボランティアグループなど、自然を守ったり回復する取り組みに参加している人々へのインタビュー取材を通して、まちの中の自然環境の保全や回復について考えてみます。

準備するもの

アクティビティシート・筆記用具・必要により録音機材や撮影機材

進め方

1. 自分たちの暮らすまちで実際に行われている、まちの中の自然を守ったり、自然を回復する取り組みや活動を探そう。
2. それらの活動に参加している人たちにインタビュー取材して、まち並みの中の自然環境の保全・保護や回復について考えよう。

アクティビティの展開

1. まず計画する (プラン=P)

街路樹や花壇の手入れや清掃、小川への小魚やホタルの幼虫の放流など、まちの中の自然を守ったり、自然を回復する取り組みや活動を探し、市町村役場やNPO団体、ボランティアグループなど、実際にその活動を行っている団体はどこなのかを調べよう。

参考資料【インタビューの基本】(13 - 54ページ)と【インタビュー項目のヒント】を参考にして、インタビューする相手、場所や日時、質問項目などを決め【インタビューの計画表】に書き込もう。

2. 観察や調査して記録する (ドゥ=D)

作成した【インタビューの計画表】をもとにインタビュー取材を行い、【インタビューの記録票】に取材した内容を記録しよう。

また、インターネットなどで、他のまちで行われている同様の取り組みや活動も調べてみよう。

3. みんなで考えたり話し合う (チェック=C)

インタビュー取材した内容を発表し、まちの中の自然を守ったり、自然を回復する取り組みや活動について考え、みんなで話し合っただけで気付いたことや疑問に思うことを【考えたことをまとめる用紙(3) - 3】に書き込もう。

4. 提案することを考える (アクション=A)

みんなで話し合っただけで気付いたことや疑問に思うことをもとに、まちの中の自然を守ったり、自然を回復するにはどうしたらよいのか、またそのために自分たちにはどんな活動や取り組みができるか、考えたことや提案することなどを【提案することをまとめる用紙(3) - 3】に書き込もう。

『環境学習プログラム1』の巻末の資料編にある、「3. 環境保全・創造活動団体」を参考にするといいよ。

インタビューの記録票

インタビューの目的	
インタビューした日： 年 月 日 / インタビューした場所：	
インタビューに答えてくれた人の名前	
質問 1	回答 1
質問 2	回答 2
質問 3	回答 3
質問 4	回答 4
質問 5	回答 5
ビデオ撮影や 写真撮影したもの	
録音したもの	
資料の閲覧や 実物の観察をしたもの	

考えたことをまとめる用紙(3) - 3

まちの中の自然を守ったり、自然を回復する取り組みや活動をしている人たちにインタビュー取材して何を感じたか。みんなで話し合っただけ気付いたことや疑問に思うことを書き込もう。

考える



- ・まちの中の自然を守ったり、自然を回復する取り組みについて知っていたか。
- ・まちの中の自然を守ったり、自然を回復する取り組みをどう感じたか。
- ・取り組みや活動をしている人たちについてどう感じたか。
- ・その取り組みや活動は、まちの中の自然を守ることにどのような効果を上げていたか。
- ・自分の身のまわりに活動している人はいたか。

提案することをまとめる用紙(3) - 3

インタビュー取材して感じたこと、気付いたことや疑問に思ったことをもとに、自分たちにはどのようなことができるのか、これからどうしていったらよいと思うかなどを書き込もう。

考える



- ・このような取り組みは、これからどうなっていくとよいと思うか。
- ・自分たちにできる取り組みや活動はあると思うか。
- ・学校や地域で、新たに活動に取り組んだらよいような課題や問題が身近にあるか。
- ・どのような取り組みが、まちの中の自然の保護や回復に効果があると思うか。
- ・その取り組みや活動が成功している理由は何か。

(3) 緑のあるまち並み

アクティビティ ④

(3) - 4 自由研究・学校や公共施設の緑化を提案し、実践してみよう

(考察と提案・実践)

はじめに

木々の緑や草花などは、まち並みにうるおいを与えます。自分たちの身近にある学校や公共施設の環境をもっとうるおいのあるものとするために、今よりも緑を増やすことは出来ないでしょうか。自分たちの身のまわりの緑化を計画提案し、実現してみましよう。

ねらい

学校や近くの公共施設に、あったらよいと思う街路樹や花壇などを造ってみたいことを提案し、まち並みの中の緑の役割を考えたり、緑豊かなまち並みをデザインしたり造ったりする心を育てます。

準備するもの

アクティビティシート・筆記用具・色鉛筆・クレパス・必要によりカメラなどの撮影機材

進め方

1. 学校や近くの公共施設の中から、もっと緑を増やしたらよいと思う場所を探し出して、その場所の緑化計画を考えてみよう。
2. 自分やグループでつくった緑化計画を発表し合って、その中から最もよいと思われるものを選んでみよう。
3. 選び出した提案をもとに緑化を実現してみよう。

アクティビティの展開

1. まず計画する (プラン=P)

学校や身近な公共施設の中から緑化が必要な施設または場所を選び出し、実際にその場所に行って現在の様子を調べ、【緑化計画の進め方】と【緑化の提案書の作り方】を参考にして【緑化の提案書】に書き込もう。

2. 緑化した結果を観察し記録する (ドゥ=D)

- (1) 自分またはグループで作った緑化計画を発表し合って、その中から最もよいと思われるものを選んで【緑化の提案書】をつくり、緑化を提案しよう。
- (2) 【緑化の提案書】が受け入れられたら計画に基づいて緑化を行って、緑化する前の様子と比べてみよう。

3. みんなで考えたり話し合う (チェック=C)

緑化計画から提案、実践を通して、緑化前と緑化した後ではその場所の印象にどのような変化があったかなどをみんなで話し合い、気付いたことや疑問に思うことを【考えたことをまとめる用紙(3) - 4】に書き込もう。

4. 提案することを考える (アクション=A)

今回の緑化計画の作成と提案、実践をもとに、自分の身のまわりを緑豊かなまち並みにしていくにはどうしたらいいのか、また自分たちには何ができるのかなどを考えて【提案することをまとめる用紙(3) - 4】に書き込もう。

1. 緑化する場所を選ぼう

学校や近くの公共施設などの中から、緑を増やしたらよいと思う場所を選び出し、緑化する場所の平面図を作ったり、スケッチや写真撮影をしておこう。

選んだ場所が学校以外の場合は、学校を通して緑化への協力をお願いしよう。



2. みんなで緑化の計画を考えよう

緑化する場所の平面図やスケッチ、写真等をもとに、【緑化計画の進め方】を参考にして、個人またはグループで緑化の計画を考えよう。

3. 一番良いと思う緑化計画を選ぼう

作成した緑化計画を発表し合って、その中から最もよいと思われるものを選ぼう。



4. 緑化を提案しよう

一番よいと思う緑化計画を【緑化の提案書】にまとめて学校に提案しよう。その時に、加えた方がよいと思われる別のグループのアイデアがあれば、そのアイデアも加えてよりよい提案になるようにしよう。

また、緑化する場所が学校以外の場所であれば、学校を通して緑化する施設に提案してみよう。



5. 緑化の実施

緑化の提案が受け入れられたら、【緑化の提案書】に基づいて、緑化する場所を管理している人たちとよく話しあってから緑化を進めていこう。

6. 緑化した後の観察と記録

緑化が完了したら、緑化した後の状態を観察し、記録しておこう。

7. 緑化が役にたったかどうか聞いてみよう

緑化した場所を管理している人たちにも、緑化した後の感想や評価を聞き取り調査して記録しよう。緑化した直後と、さらに数カ月たった後など、聞き取り調査は2回以上行おう。



1.なぜ緑化するのか

緑化する目的をはっきりさせて、その場所を管理している人に理解してもらい、協力が得られるようにしましょう。



2.どこを緑化するのか

緑化する場所の「平面図」を作り、どのような配置で緑化するのかなどを書き込もう。

3.緑化の役割分担

緑化の作業は、グループを作って行おう。また、グループ内で役割分担を決めよう。



4.いつ緑化するのか

緑化作業の準備、緑化作業の実施などのスケジュールを考えよう。

5.どのように緑化するのか

植え付ける植物、季節などを書き込もう。

6.緑化した後の管理

緑化する前のスケッチと、緑化した後の予想図をつくろう。また、緑化した後の管理の役割分担についても決めよう。



(参考)

緑化にどのくらいの費用がかかるのか考えてみよう。

材料費や工事費などの費用と、肥料や水やり、植え替えなど緑化した後の管理の費用を試算してみよう。



() の緑化提案書
なまえ()

項 目	内 容
なぜ緑化するのか	<div style="border-bottom: 1px dashed #ADD8E6; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed #ADD8E6; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed #ADD8E6; margin-bottom: 5px;"></div>
どこを緑化するのか	緑化する施設 <div style="border-bottom: 1px dashed #ADD8E6; margin-top: 5px;"></div>
	緑化する場所 <div style="border-bottom: 1px dashed #ADD8E6; margin-top: 5px;"></div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">別紙平面図の通り</div>
緑化の役割分担	グループ名
	班 長
	班 員
	役割分担
いつから 緑化するのか	月 日 ~ 月 日
どのように 緑化するのか	植え付ける植物 <div style="border-bottom: 1px dashed #ADD8E6; margin-top: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed #ADD8E6; margin-top: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed #ADD8E6; margin-top: 5px;"></div>
緑化した後の管理	・水やり 週 回 / 曜日
	・草取り 月 ・種まき 月 ・春の肥料 月
	・せんてい 月 ・秋、冬の肥料 月

緑化する場所の平面図

なまえ()

A large rectangular area with rounded corners, filled with a light blue dashed grid. This grid is intended for drawing a site plan for greening.

スケッチの例

緑化前後の様子・スケッチと完成予想図

緑化する前のスケッチ

年 月 日作成



緑化した後の予想図

年 月 日作成



緑化前後の様子・スケッチと完成予想図

緑化する前のスケッチ

年 月 日作成

緑化した後の予想図

年 月 日作成

緑のお世話係役割分担表

項 目	内 容		担当する人
草取り	月	月	
	月	月	
	月	月	
種まき	植物の名前	時 期	
		月	
		月	
		月	
苗の植えつけ	植物の名前	時 期	
		月	
		月	
		月	
水やり	植物の名前	時 期	
		月	
		月	
		月	
植え替え	植物の名前	時 期	
		月	
		月	
		月	
せんてい	植物の名前	時 期	
		月	
		月	
		月	
肥 料	植物の名前	時 期	
		月	
		月	
		月	

考えたことをまとめる用紙(3) - 4

学校や公共施設の緑化計画を立てて提案したり、実際の緑化作業をしてみてどんなことを感じたか。みんなで話し合って気付いたことや疑問に思うことを書き込もう。

考える



- ・緑化計画を立てて提案してみてどんなことを感じたか。
- ・学校や公共施設に緑を増やしたことで、どんなことを感じたか。
- ・今回緑化の計画を立てた場所には、どうして緑が少なかったのだろうか。
- ・緑化した場所の緑のお世話係役割分担表を作ってみて、どんなことを感じたか。

提案することをまとめる用紙(3) - 4

緑化計画・提案・実施を通して感じたこと、みんなで話し合ったことなどをもとに、学校や公共施設をはじめ、緑豊かなまち並みにするにはどうしたらよいか、自分たちには何が出来るかなど、提案することを書き込もう。

考える



- ・身近に緑を増やしたらよいと思う場所はないか。
- ・子ども会や町内会・自治会でやっている緑化活動などはあるか。
- ・まち並みの中に緑を増やすために、自分たちには何ができると思うか。

まちの中の自然を守る取り組み

山口県内のいろいろなまちで、まちの自然を守ったり、育てたりする取り組みが行われています。ここでは、県下各地で取り組まれている活動の主なものと主催している団体やグループを紹介します。

ここに紹介した以外にも、「環境学習プログラム」の巻末にある資料編の「環境保全・創造活動団体、自然・生物保護」P317～P320にも、活動団体の一覧を掲載していますので参照して下さい。

一の坂川風致保存協議会

<活動概要>

一の坂川に面した6地区が一の坂川沿線の景観を守ることを目的として「一の坂の風致を守る会」を発足し、約20年間の活動を続けています。一の坂川沿線は樹齢40年をこえる桜並木があり県下有数の桜の名所として知られるほか、桜に続いてツツジやショウブの花が咲くなど美しい景観が守られています。「一の坂川の風致を守る会」では、この景観を守るために、各地区が連係して環境美化や清掃作業などを行っています。

代表者名 / 金本利雄

住所 / 〒753-0083 山口市後河原163

TEL / 0839-22-4368



うりぼう倶楽部

<活動概要>

宇部市の小野地区にある「うりぼう倶楽部」は自然豊かな地域の特性を活かした農業体験学習や、三世代交流とふれあいの場づくりを目的とした竹炭づくりなどの学習交流会を行っている団体です。農業体験学習としては地元小学生を対象に特産の椎茸の栽培活動を行っており、三世代交流学習としては、地元の高齢者が指導者となって子どもたちに輪飾りづくりなどを指導しています。また、ふれあいの場づくりとして、地元の間伐材を利用したベンチやログハウスづくり、竹炭づくりなどを行いながら、子どもから高齢者までのふれあいの場づくりを行っています。

代表者名 / 志賀光法

住所 / 〒754-1311 宇部市小野区下小野

TEL / 0836-64-2311



竹炭づくりの様子

阿知須緑の少年団

<活動概要>

阿知須町内在住の小中学生で結成された団体で、自然に親しみながらの研修や、自然環境を守る活動を行っています。

まちの自然を守り地域に貢献する心を育てる活動としては、阿知須町内を流れる「井関川」の清掃作業を毎年行っています。

また、「少年自然の家」などを利用した宿泊学習会をはじめとして、野鳥の観察会や福祉体験活動等を行っています。

代表者名 / 中谷敏明

住所 / 〒754-1241 阿知須町浜表

TEL 0836-65-2851



伊関川清掃作業の様子

防長の吉野をつくる会

<活動概要>

鹿野町の金峰地区にヨシノザクラを植えて、桜の名所をつくる事を通した町づくりを目指している団体です。「一緒に防長の吉野づくりをしませんか」と日本全国へ参加を呼びかけることで出会いとネットワークづくりを行い、全国から1,600名を超える会員が参加しています。運営行事としては会員が気軽に参加できる「桜の植樹祭」「金峰山初日の出参拝登山会」「防長の吉野づくりを語る集い」などを行っています。

また、地域の文化を伝承する活動として「蕎麦塾」を実施し、蕎麦の栽培や蕎麦打ち大会などのイベントの企画運営も行っています。

代表者名 / 高光定治

住所 / 〒745-0412 鹿野町金峰4931番地

TEL / 0834-68-2255



桜の植樹祭の様子

夢現塾

<活動概要>

国の天然記念物「ナベツル」の保護と増殖活動を行っている団体です。熊毛町の八代地区はナベツルの渡来地として全国的に知られており、行政と地域住民が連携した保護活動が行われています。その中で「夢現塾」は、民間の団体としてナベツルのねぐらの整備や、行政が行う調査を応援するなどの保護活動を行っています。

また、自然を守る活動のひとつとして「ギフチョウ」(蝶の一種)の保護、増殖活動も行っています。基礎研究を行いながら蝶を人工的に育て、生まれた蝶を自然に放す活動です。

代表者名 / 吉岡達文

住所 / 〒745-0501 熊毛町八代上須野河内

TEL / 0833-91-6652



(4) まちの歴史探検

アクティビティ ①

(4) - 1 昔のまち並みと今のまち並みを比べてみよう

(観察・調査と考察)

はじめに

古い時代のまち並みと現代のまち並みでは、どんなところが変わっているのでしょうか。まち並み景観、道路や公園、商店街の様子などは、時間の経過とともにどのように変わってきたのでしょうか。また、その変化によってまちや私たちの暮らしは、どう変わったのでしょうか。古い時代のまち並みについて資料を調べたり、地域のお年寄りなどへのインタビュー取材を通して、昔のまち並みと今のまち並みを比べ、まち並みの保存について考えます。

ねらい

1. 図書館などでの資料調べや、お年寄りなどまちの人へのインタビュー取材を通して、昔のまち並みの様子について調べます。
2. 調べたことからわかった昔と今のまち並みの様子とを比べて、変わっていないところや変わったところはどんなところか比較します。
3. 次に、そういったまち並みの変化によって、まちの環境や私たちの暮らしがどのように変わったのか、また新しくできたものや失ってしまったものなどについて考え、まち並みの保存について考えます。

準備するもの

アクティビティシート・筆記用具・まちの地図(住宅地図のようにまちの様子が細かく分かるものが好ましい)

進め方

1. 図書館や市町村役場などで調べたことや、お年寄りなどへのインタビュー取材を通して分かったことをもとに、昔のまち並みの地図を作ろう。
2. 調べたことをもとに作った昔のまち並みの地図やインタビュー取材で分かったことから、昔のまち並みについて考えてみよう。そして、今のまち並みと比べてどんなところがどう変わったのか、あるいはどんなところが今も変わっていないのかなどから、まち並みの変化により私たちの暮らしがどう変わったのか考えてみよう。
3. 時代とともに変わっていくまち並みをどうすべきなのか、まち並みの保存のために何ができるのかなど、提案することも考えてみよう。

アクティビティの展開

1. まず計画する (プラン=P)

古いまち並みについての資料をどうやって調べるのか、どこで調べるのかなどを計画し、【調べることをまとめる用紙(4)-1】に書き込もう。

また、参考資料【インタビューの計画表】(13-53ページ)と【インタビュー項目のヒント】を参考にして、インタビューする相手、場所や日時、質問項目などを決めよう。

2. 観察や調査して記録する (ドゥ=D)

図書館などで調べたことを、【調べることをまとめる用紙(4)-1】に書き込もう。

また、【インタビューの計画表】をもとにインタビュー取材を行い、【インタビューの記録票】と【調べたことをまとめる用紙(4)-1】に記録しよう。

3. みんなで考えたり話し合う (チェック=C)

みんなで調べた内容を発表し、昔のまち並みについて考えてみよう。

そして、今のまち並みと比べて、どんなところがどう変わったのか、どんなところが変わっていないのか、みんなで話し合っただけ気付いたことや疑問に思うことを【考えたことをまとめる用紙(4)-1】に書き込もう。

4. 提案することを考える (アクション=A)

みんなで話し合っただけ気付いたことや疑問に思うことをもとに、時代とともに変化していくまち並みをこれからどうしていったらよいのか、またまち並みの保存のために何ができるのかなどを考え、【提案することをまとめる用紙(4)-1】に書き込もう。

インタビュー項目の



- ・まち並みはどのように変わったか。
- ・まち並みの変化によって、道路や公園、商店街などの様子、交通や生活の利便性はどうか変わったか。
- ・昔のまち並みと今のまち並みでは、どんなところが変わったか。
- ・昔のまち並みと今のまち並みでは、どんなところが変わらずにそのまま残っているか。
- ・古いまち並みは残していった方がよいのだろうか。残さない方がよいのだろうか。
- ・昔のまま変わらずに古いまち並みが残されているのは、なぜだろうか。
- ・古いまち並みを残すために、活動しているグループや団体があるのだろうか。
- ・時代とともに変化していくまち並みを、これからどのようにしていけばよいのだろうか。
- ・なぜ、まち並みを保存する必要があるのだろうか。

古いまち並みの地図を作ろう

調べたことをもとに、古いまち並みの地図を作り、今のまち並みと比べてみよう。どんなところが変わっていて、どんなところが変わっていないだろうか。

古いまち並みの地図の例

調べることをまとめる用紙(4) - 1	
調査の場所	()図書館 ()市町村役場 ()その他 []
調査の対象 (をつけよう)	()家屋 ()道路 ()公園 ()商店 ()自然 ()その他 []
調査する時代	(明 治 ・ 大 正 ・ 昭 和 ・ 平 成) 年頃
調査の方法	()資料調べ [地 図 ・ 文 書] ()インタビュー ()その他 []

The map shows a town layout on a grid background. It includes several buildings and a river. Callouts provide historical context for each location:

- 団地 (Danchi):** A yellow rectangular area on the left.
- 古くからあるお店がそのまま残っている (Old shop remains as is):** A callout pointing to a pink rectangular building.
- 商店街 (Shoutenji):** A pink rectangular area below the old shop.
- 新しく森ができた (New forest created):** A callout pointing to a green area on the right.
- 去年新しく建てかえられた (Rebuilt last year):** A callout pointing to a yellow rectangular building.
- 昔からこの場所にあった (Existed here since old times):** A callout pointing to a blue rectangular building.
- 公園 (Park):** A green area on the right.
- 道路の幅が広がった (Road width expanded):** A callout pointing to a yellow road.
- ここは以前古い家があった (Old house here before):** A callout pointing to a yellow rectangular building.
- ここは以前田んぼだった (Rice paddy here before):** A callout pointing to a blue rectangular building.
- 公民館 (Community Center):** A blue rectangular area below the rice paddy.
- 川岸がコンクリートになった (Riverbank became concrete):** A callout pointing to a blue river.
- デパート (Department Store):** A yellow rectangular area at the bottom left.

調べたことをまとめる用紙(4)-1

1. 観察する場所を選び、比較する時代を決めよう。
2. それぞれの項目ごとに、まち並みの変化、なくなったものや減ったもの、新しくできたものや増えたものなどについて観察したり、インタビュー取材を行って記録しよう。
3. また、それぞれの変化について、自分はよいと思うのかよくないと思うのか、好きなのか嫌いなのかなど、そのまち並みの変化についてどう感じるのかについても書き込もう。

観察する場所	比較する時代(年頃)	まち並みの変化		どう感じるか よい・よくない 好き・嫌いなど
		なくなったもの・減ったもの	新しくできたもの・増えたもの	
(例) 山口市大殿 地区 町 地区	(例) 両親が 子どもの頃 (昭和 年頃) 祖父母が 子どもの頃 (大正 年頃)	(例) 小川 田んぼ 古い家並み 砂浜のある海岸 山 ...	(例) 大型ショッピングセンター 埋め立て地と工場 住宅地 緑地公園 街路樹 ...	

考えたことをまとめる用紙(4)-1

昔のまち並みと今のまち並みを比べて、どんなところがどう変わったのか、どんなところが変わっていないのか、みんなで話し合っただけ気づいたことや疑問に思うことを書き込もう。

提案することをまとめる用紙(4)-1

みんなで調べたことをもとに、時代とともに変化していくまち並みをこれからどうしていったらよいのか、またまち並み景観の保存について考え、何ができるのか提案してみよう。

考える



- ・まち並みの変化によって、私たちの暮らしはどのように変わったか。
- ・まち並みの変化と私たち暮らしの変化には、どのような関係があると思うか。
- ・便利な暮らしとまち中にある自然環境の変化には、どのような関係があると思うか。
- ・古いまち並みはどのように残していけばよいと思うか。
- ・まち並みの変化に対して、自分たちには何ができると思うか。

(4) まちの歴史探検

アクティビティ ②

(4) - 2 まちの歴史と文化財を守る取り組みについて調べてみよう

(観察・調査と考察)

はじめに

まちには、まちの歴史があります。自分が暮らしているまちには、どのような歴史があり、昔はどのようなまち並みでどのような環境だったのでしょうか。また、歴史的な遺産は今、まちの中にどのくらい残っているのでしょうか。

まちの歴史を調べ、今もまちの中に残る古いまち並みや建物、お寺や神社、史跡、文化財といった歴史的遺産を探し出し、その周辺のまち並みと一っしょにスケッチしたり写真に撮ったりして観察することによって、まちの歴史や文化財を守る取り組みについて考えてみましょう。

ねらい

自分が暮らしているまちには、どんな歴史的な文化財が残されていて、その周辺のまち並みはどうなっているのか。古い時代のまちについて調べ、今もまちの中に残る古いまち並みや歴史的建造物、文化財を周辺のまち並みとともにスケッチしたり写真にとって観察します。

自分が暮らしているまちの歴史的な文化財について調べることで、有形無形のまちの歴史や文化を伝えたり、保存したりする取り組みについても考えます。

準備するもの

アクティビティシート・筆記用具・色鉛筆・必要によりカメラなどの撮影機材

進め方

1. 観察マップを作り、まちの中にある古いまち並み、歴史的建造物、史跡、文化財などを探し出して、その周辺のまち並みとともに観察し、スケッチしたり写真に撮ったりして、まちの歴史や文化財について観察しよう。
2. 教室に帰って、まちの中で探し出した古いまち並み、歴史的建造物や史跡、文化財とその周辺のまち並みの様子など、観察してきたことを発表し、自分のまちの歴史と文化財がどのように守られているのかについて話し合い、提案することなどを考えよう。

アクティビティの展開

1. まず計画する (プラン=P)

地図をもとに観察マップを作り、歴史的建造物や史跡などを探す場所と日時、記録の方法を決め、グループの仲間と話し合っ【観察の計画をまとめる用紙(4)-2】に書き込もう。

2. 観察や調査して記録する (ドゥ=D)

【観察の計画】をもとに観察を行い、【観察したことを記録する用紙(4)-2】にスケッチを描くか、撮影した写真を貼ろう。

3. みんなで考えたり話し合う (チェック=C)

観察記録のスケッチや写真をもとに観察したことを発表し、みんなで話し合っ気付いたことや疑問に思うことを【考えたことをまとめる用紙(4)-2】に書き込もう。

4. 提案することを考える (アクション=A)

みんなで話し合っ気付いたことや疑問に思うことをもとに、これらを守っていくためにはどうしたらよいと思うかなどを【提案することをまとめる用紙(4)-2】に書き込もう。

『環境学習プログラム1』の巻末の資料編にある「1.環境学習施設」の5.歴史・文化を体験できる施設「2.環境学習フィールド」5.歴史・文化(遺跡等)を参考にしよう。

観察マップを作ろう

まちの地図と【観察マップの例】をもとに観察マップを作り、観察する場所や日時、観察する方法を決めて【観察の計画をまとめる用紙(4)-2】に書き込もう。

観察マップの例

観察の計画をまとめる用紙(4)-2			
観察の場所	観察日時	年	月 日 時
観察の対象 (をつけよう)	<input type="checkbox"/> 古いまち並み ()歴史的建造物と周辺のまち並み ()史跡と周辺のまち並み <input type="checkbox"/> 文化財と周辺のまち並み ()その他 [
観察の方法 (をつけよう)	<input type="checkbox"/> スケッチ ()写真撮影 ()インタビュー <input type="checkbox"/> その他 [

観察マップ

なまえ ()

観察の計画をまとめる用紙 (4) - 2

観察の場所	観 察 日 時	年	月	日	時
	観察の対象 (をつけよう)	()古いまち並み ()歴史的建造物と周辺のまち並み ()史跡と周辺のまち並み ()文化財と周辺のまち並み ()その他 []			
	観察の方法 (をつけよう)	()スケッチ ()写真撮影 ()インタビュー ()その他 []			

地図を描き終わったら、北の方角が分かるように、方位を入れておこう。

スケッチや写真による観察記録

なまえ()

観察したことを記録する用紙(4) - 2					
観察の対象 (をつけよう)	<input type="checkbox"/> 古いまち並み <input type="checkbox"/> 歴史的建造物と周辺のまち並み <input type="checkbox"/> 史跡と周辺のまち並み <input type="checkbox"/> 文化財と周辺のまち並み <input type="checkbox"/> その他 []				
No. 1	観察した場所	No. 2	観察した場所		
	観察した日時 年 月 日 時 分		観察した日時 年 月 日 時 分		
No. 3	観察した場所	No. 4	観察した場所		
	観察した日時 年 月 日 時 分		観察した日時 年 月 日 時 分		

観察の ヒント

まちの歴史・文化財の観察例

- ・歴史的まち並みの保存地域、歴史上の人物の生家・旧宅、武家屋敷、城下町、お寺、神社、史跡・旧跡など、まちのどこにあるのか調べてみよう。また、その周辺のまち並みの様子がどうなっているかもあわせて調べてみよう。
- ・観光ガイドブックなどから歴史的まち並みや史跡等のある場所を探してみよう。
- ・まちの図書館や歴史民俗資料館などで、まちの歴史について調べてみよう。
- ・お父さんやお母さん、まちの人など、まちの歴史を知っている大人の人に話を聞いてみよう。
- ・市町村役場や教育委員会などに、まちの歴史について調べられる場所や詳しい人、また歴史や文化を伝え、守る活動をしている人がいないかなどを問い合わせてみよう。

考えたことをまとめる用紙(4)-2

観察記録をもとに、発見したり観察したことを発表し、みんなで話し合っ
て気付いたことや疑問に思うことを書き込もう。

考える  ヒント

- ・なぜ、その歴史的建物や文化財は残っているのだろうか。また、それらを見てどう感じたか。
- ・どんなところにまちの歴史的な遺産が多く残っていたか。どんなところで失われていたか。
- ・歴史的建造物や史跡の周辺には、どのようなまち並みが多かったか。
- ・歴史的建造物や史跡、文化財などを守るための取り組みは行われているのだろうか。

提案することをまとめる用紙(4)-2

みんなで話し合っ
て気付いたことや疑問に思ったことをもとに、まちの歴史や文化財を守っていくために
どうしたらよいのかなどを書き込もう。

考える  ヒント

- ・古いまち並み、歴史的建造物や史跡、文化財などを守っていくにはどうしたらよいと思うか。
- ・なぜ、古いまち並み、歴史的建造物や史跡、文化財などを守っていく必要があるのだろうか。
- ・どのような取り組みが、歴史的建造物や史跡、文化財などを守っていくのに効果的なのだろうか。
- ・歴史的なまち並みや文化財、またその環境を守っていくために、自分たちには何ができると思うか。

山口県下各地でも、市町村でまち並み保存に関する条例を定めるなどして、歴史的に価値のあるまち並みを保存したり、修復・再現する取り組み等が行われています。

ここでは、下関市、萩市、柳井市における歴史的まち並み保存の実例を紹介します。

下関市・長府地区

下関市長府地区は、慶長5年(1600年)毛利氏が関ヶ原の役で敗れ、防長二州に封じ込まれたことに伴い、毛利秀元が慶長7年(1602年)、長府へ入府して築いた長府藩5万石の城下町です。

明治維新や下関戦争に関わる史跡が点在し、練堀や長屋門、武家屋敷など、城下町のまち並みが今も残っています。

平成8年には「下関市都市景観条例」が施行され、古いまち並みを後世に残す取り組みが行われています。



下関市
長府地区



萩市・堀内地区

慶長5年(1600年)、関ヶ原の役で敗れた毛利輝元は防長二州に封じられ、現在の萩市に毛利36万石の居城が置かれました。萩市は今も江戸時代の城下町の面影をまちのそこここに色濃く残しています。

特に、三角州の北西に位置する萩城跡の周辺地域では、外敵の侵入を防ぐために鍵状に作られた土堀が続く「鍵曲」や白壁、古い武家屋敷など、城下町の頃のまち並みを今も数多く残しており、国の伝統的建造物群保存地区(文化庁)に指定されています。



萩市
堀内地区

萩市
平安古地区



柳井市・「白壁の町並み」

柳井は藩政時代(1600年~1867年)、瀬戸内の商業の中心地として栄えたまちです。金屋通りには、今も往時の繁栄ぶりを伝える白壁の塗り家造りで、二階が白漆喰、一階が格子という商家の家並みが続くまち並みが残っています。

18世紀後半に建てられた商家などが往時のまま保存されている、この「白壁の町並み」は、国のまち並み保存地区(重要伝統的建造物群保存地区)に指定されており、中でも国森家住宅は国の重要文化財に指定されています。



白壁の町並み

都市景観100選（国土交通大臣賞）

活力があり、うるおい豊かな美しいまち並みをつくり出していくためには、行政と住民が協力してまち並みを整備するとともに、つくり出されたまち並みが良好に維持されていくことが大切です。

国では、毎年10月4日を「都市景観の日」と定め、平成3年度から平成12年度にかけて全国の都市の中から「都市景観100選」（国土交通大臣賞）を選び出しました。

選出の基準は、都市空間の構成並びに意匠について総合的な工夫、配慮及びその結果つくられてきている都市空間のデザインなど、都市環境が優れた地区並びに高い水準の都市空間デザインが行われていることです。

山口県内でも以下の4つの都市景観が「都市景観100選（国土交通大臣賞）」を受賞しました。

山口県内の受賞地区

宇部市



平成3年 真締川周辺地区
（山口県宇部市）

萩市



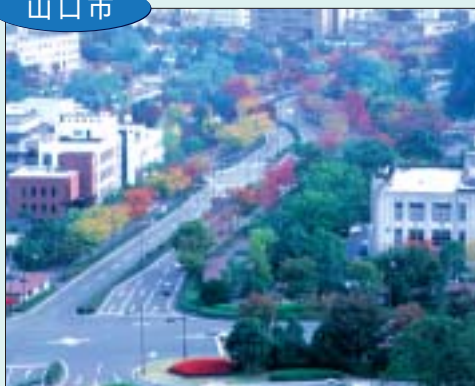
平成6年 萩市堀内地区
（山口県萩市）

下松市



平成7年 下松ゆめセンター周辺地区
（山口県下松市）

山口市



平成10年 パークロード周辺地区
（山口県山口市）

はじめに

インタビュー取材によって、専門的な知識や豊富な経験を持った人に話を聞いたり説明を受けることで、資料調べだけではわからないことを教えてもらったり、必要なことを短時間で教えてもらうことが出来ます。

しかし、インタビューに協力してもらうためには、しっかりとした下準備が必要です。また、相手の仕事や周囲の人の迷惑にならないように行うことが大切です。

以下の手順を参考にして、相手に失礼のないようにインタビュー取材をしましょう。

インタビューの事前準備

1. 「インタビューの計画表」をもとに、何の目的で、いつ、どこで、誰に、どんな質問を、なぜするのかなど、インタビューの計画をつくろう。
2. インタビューにあわせて写真やビデオ撮影、録音、関連した資料等を手にとって調べることが必要な場合は、それらについても事前に整理して、あらかじめ先方にその許可をとっておこう。
3. インタビューしたい人に連絡して、「インタビューの計画表」をもとにインタビューを申し込もう。
4. 事前に資料調べなどを行って、質問する内容について予習しておこう。



インタビューの進め方

1. まず最初に大きな声ではきはきと挨拶をしよう。それが済んだら、学校名と学年、自分の名前を言おう。
2. 約束の時間に訪問したら、あらためて仕事や周囲の人などの邪魔にならないかを確認して、了解を得よう。
3. 自分たちが今調べていることや、調べたいことを伝えよう。
(必要に応じて、インタビュー内容を先方に事前に伝えておくとよい)
4. 「インタビューの計画表」をもとにインタビュー取材をしよう。
質問はできるだけ相手を見て行い、取材した内容を「インタビューの記録票」へ記録していこう。必要ならば録音や、写真・ビデオ撮影などを行おう。
5. インタビューの際に録音したり、撮影したり手にとって観察したいものがある時は、あらかじめ先方に許可を得た上で行おう。
6. インタビューで聞きもらったことや気付いたことなどを、あとからでも電話で教えてもらえるようお願いしておこう。
7. インタビューが終わったらお礼を言おう。また、録音や撮影などの後始末も忘れずに帰ろう。



インタビューが終わったら

1. インタビュー結果を整理し、聞きもらったことや新たな質問などがないか考えてみよう。
2. インタビュー取材の際に聞きもらったことや新たな質問などが出てきた場合は、できるだけ早く電話などで追加取材をしよう。
3. お礼の手紙も書こう。

手紙でインタビューする時の注意

1. 自己紹介する手紙と、インタビューの質問用紙、回答用紙は別の用紙にしよう。
2. 返信用の封筒を用意し、表に自分の住所と名前を書いて、必要な額の切手をはって同封しよう。
3. インタビューの回答用紙が送られてきたら、お礼の手紙を出しておこう。

インタビューの目的			
インタビューに答えてもらう人の候補			
紹介してもらうところ	紹介してもらったところ	紹介してもらった人の名前	約束
(例) ・市町村役場 ・社会福祉事務所 ・社会福祉協議会など	(例) ・担当の部署の名前 ・ボランティアグループの名前		×
			×
			×
			×
			×
			×

インタビューする日： 年 月 日 (予約 ・ ×)

インタビューに答えてもらう人の名前：

インタビューする場所：

質問項目	質問 1
	質問 2
	質問 3
	質問 4
	質問 5

ビデオ撮影や写真撮影をお願いするもの

録音をお願いするもの

資料の閲覧や実物の観察をお願いするもの

インタビューの目的	
インタビューした日： 年 月 日 / インタビューした場所：	
インタビューに答えてくれた人の名前	
質問 1	回答 1
質問 2	回答 2
質問 3	回答 3
質問 4	回答 4
質問 5	回答 5
ビデオ撮影や 写真撮影したもの	
録音したもの	
資料の閲覧や 実物の観察をしたもの	

(5) 未来のまち並み環境マップを作ってみよう

アクティビティ ①

(5) - 1 未来のまち並み環境マップを作ってみよう (学習の総まとめ)

～こんなまちに住んでみたい～

はじめに

これまでのアクティビティでは、好きなまち並みや改善したいまち並みについて考えたり、古いまち並みやまちの歴史・文化財を守る取り組み、まちの自然を守ったり取り戻す取り組みなどを見てきました。

今まで見たり学んだりしたこと、感じてきたことなどをもとに、自分の暮らすまちのまち並みをよりよい環境に変えていくとしたらどのようなことが考えられるでしょうか。未来のまち並み環境マップを作ってみましょう。

ねらい

これまでのアクティビティで使ったり作ったりした観察マップを利用して、現在のまち並みの状態に工夫を加えたよりよい環境のまち並みを考え、それを未来のまち並み環境マップにして発表し、実現するための実践行動への動機づけを行います。

準備するもの

アクティビティシート・筆記用具・まちの白地図・色鉛筆など

進め方

1. これまでのアクティビティで使ったり作ったりした観察マップから1枚を選び、今まで見たり学んだりしたこと、感じてきたことなどをもとに、グループで相談しながら新しいアイデアを盛り込んだよりよい環境のまち並みづくりを考えて書き込もう。
2. これまで学習したことをまとめ考察することにより、誰もがよりよいまち並みの環境について考え、それを実現してみよう。

アクティビティの展開

1. まず計画する (プラン=P)

これまでのアクティビティで使ったり作ったりした観察マップから1枚を選んでおこう。また、今まで見たり学んだりしたこと、感じてきたこと、【改善のヒント】などをもとに、グループで相談しながらよりよいまち並み環境にするためのアイデアを考え【計画をまとめる用紙(5) - 1】に書き込もう。

2. 未来のまち並み環境マップを作る(ドゥ=D)

グループで相談したよりよいまち並み環境に改善するための新しいアイデアを、選んだ観察マップに書き込み、未来のまち並み環境マップを作ろう。

3. みんなで考えたり話し合う (チェック=C)

未来のまち並み環境マップを作って気付いたことや疑問に思うことを【考えたことをまとめる用紙(5) - 1】に書き込もう。

4. 提案することを考える (アクション=A)

未来のまち並み環境マップを作って気付いたことや疑問に思うことをもとに、これからどうしたらよいと思うかななどを【提案することをまとめる用紙(5) - 1】に書き込もう。

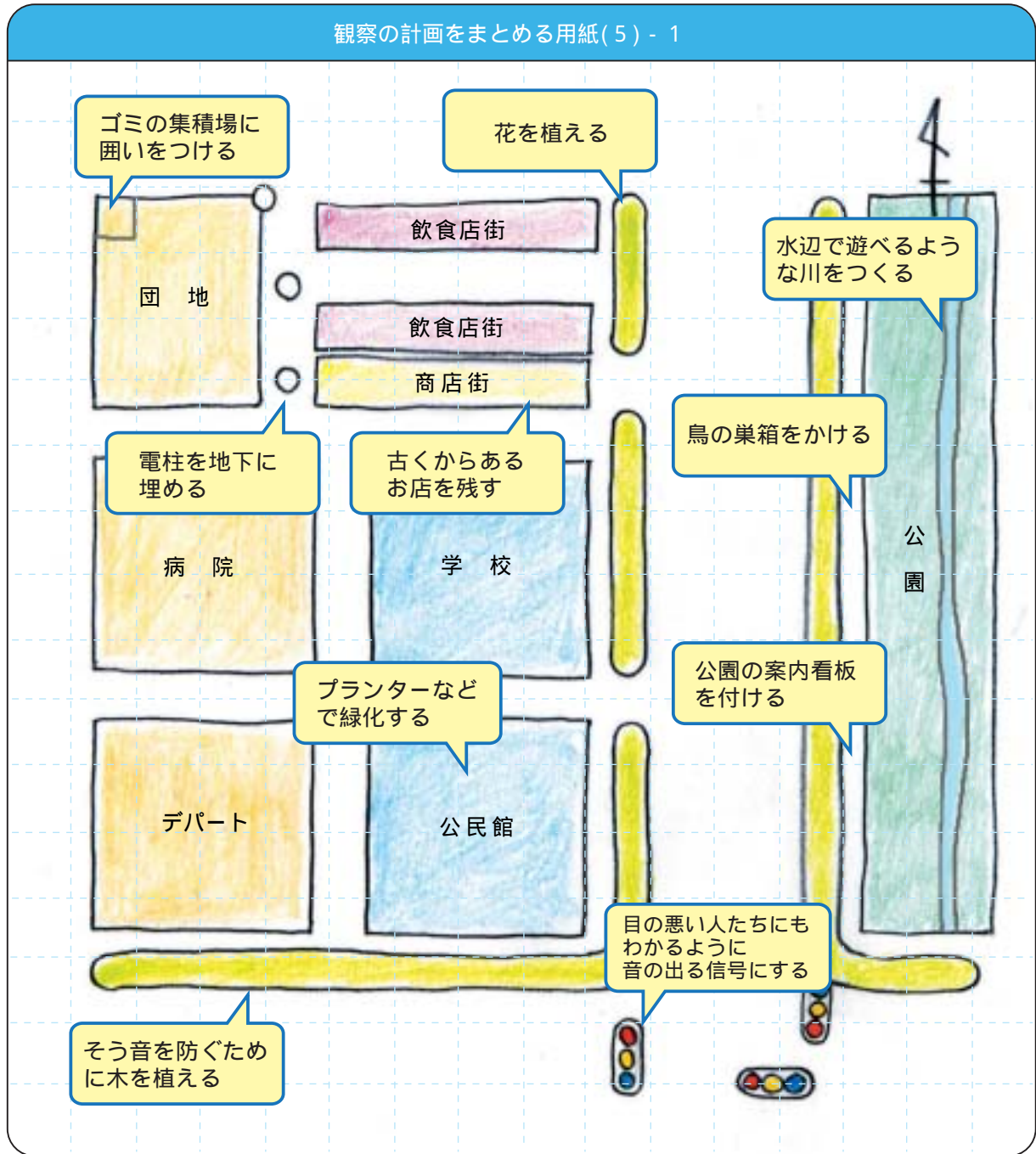
計画をまとめる用紙(5) - 1

改善するところ	現 状	暮らしやすいまちのためのアイデア
公園の花壇	春から夏までは花があるが、 秋冬は葉っぱの緑しか見れない。	もっと花の種類を増やして、 一年中花が見れるようにしたい。
ゴミの集積場	看板があるだけで、囲いなどが無いため 猫やカラスがゴミを散らかしている。	防護ネットか金網の集積ボックスを設置 したい。
道路上の電柱	電柱にいろいろな広告物が貼ってあり、見た 目が悪い。また、道路上にあるため、交通を 邪魔している。	電柱か電線を地中に埋める。

未来のまち並み環境マップを作ろう

今まで見たり学んだりしてきたこと、感じてきたことなどをもとに、グループで相談しながらよりよいまち並み環境にするためのアイデアを考え【観察の計画をまとめる用紙(5)-1】に書き込もう。

未来のまち並み環境マップの例



改善のヒント

- ・街路樹や花壇、公園や遊び場、自然がもっとあったらよいと思うところはあるか。
- ・道路や駅、公共施設、病院などは誰にも使いやすくなっているか。人に優しい工夫は十分か。
- ・まちの中の音環境はどうだろうか。騒音を防ぐ仕組みや騒音をださない工夫は十分か。
- ・ゴミの集積場所は、きちんと整備されているだろうか。
- ・まちの歴史や文化財は大切に守られているか。自然環境についてはどうか。
- ・史跡・名勝や文化財、観光地、公共施設等の案内看板は整備されているか。
- ・昔はあって今はなくなってしまったもので、もう一度、取り戻したいものはないだろうか。

未来のまち並み環境マップを作ろう

なまえ()

観察の計画をまとめる用紙(5) - 1

地図を描き終わったら、北の方角が分かるように、方位を入れておこう。

A large grid of dashed lines for drawing a map. The grid consists of 20 columns and 20 rows of squares, providing a space for drawing and labeling the map.

考えたことをまとめる用紙(5) - 1

未来のまち並み環境マップを作って気付いたことや疑問に思うことを書き込もう。



考える

- ・考えたアイデアの実現の可能性はあるか。
- ・なぜ今まで改善されなかったと思うか。
- ・いろいろな改善を行うことでメリットのある人とメリットのない人はあるか。

提案することをまとめる用紙(5) - 1

未来のまち並み環境マップを作って気付いたことや疑問に思ったことをもとに、自分たちはこれからどうしたらよいと思うかなどを書き込もう。



考える

- ・行政に頼らずに、まちの人たちだけでできる改善はあるか。
- ・町内会でできることはあるか。
- ・他の学校や地域でまち並みづくりやまち並み環境の改善に取り組んでいる例はあるか。
- ・自分たちにもできることがあるか。

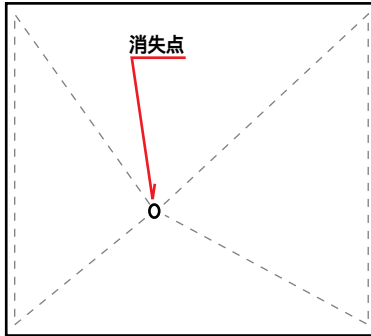
用意するもの

色鉛筆・クレパス・スケッチブック

簡単なまち並みスケッチの方法

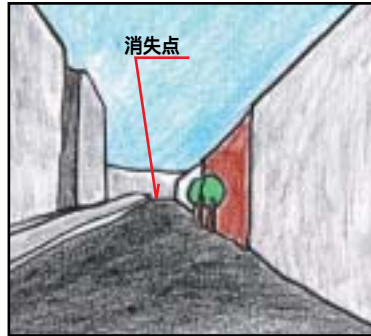
遠近法で構図を決める

消失点に向かって構図を決める放射状のガイドラインを薄く描いておく。



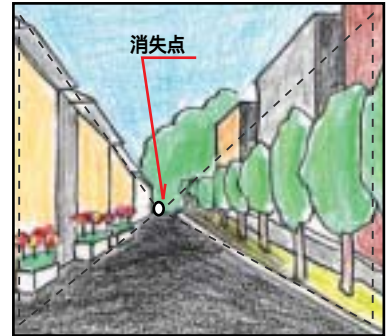
主な建物と道路を書き込む

建物はだいたい形と色で簡単に描き、あまり詳しく描かないようにしよう。



まち並みの緑と空を書き込む

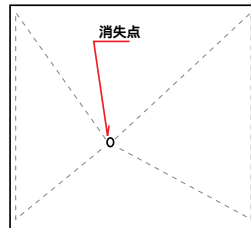
街路樹などを書き込む時にも、消失点に向かってガイドラインを描いてから描こう。



主な建物と道路までのまち並みスケッチの練習

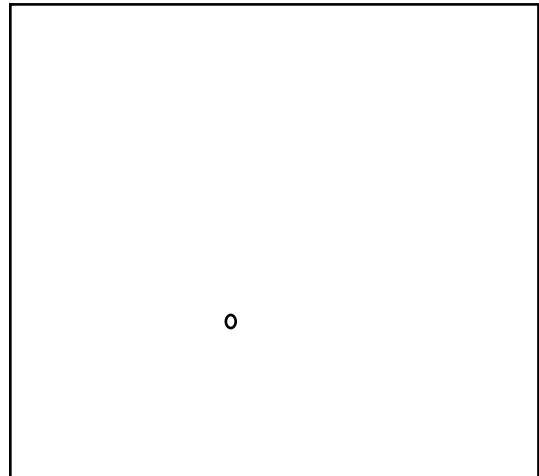
遠近法で構図を決めよう

消失点に向かって構図を決める。放射状のガイドラインを、薄く描いておく。



主な建物と道路を書き込もう

建物はだいたい形と色で簡単に描き、あまり詳しく描かないようにしよう。



街路樹や花だん、プランターなどまちの緑を描き加えたスケッチの練習

主な建物と道路のスケッチをもう一枚描こう。



まち並みの緑と空を書き込もう

街路樹などを書き込む時にも、消失点に向かってガイドラインを描いてから描こう。

